



4月度の御書

「持妙法華問答抄」

御文

南無妙法蓮華經と我も唱え他をも勧めんのみこそ、今生人界の思い出なるべき。

(御書新版519ページ、御書全集467ページ)

意味

南無妙法蓮華經と自分も唱え、他の人にも勧めることこそが、人間として生まれてきた、この一生の思い出となるのです。

自分も周りの人も笑顔いっぱいの毎日に!

こんにちは! ボクはライオン博士のキング君。みんなは池田先生の本を読んだことはある? 池田先生の本にはね、戸田先生との思い出がたくさん出てくるんだ。戸田先生は、池田先生の師匠だよ。読んでみると、池田先生は戸田先生のことをずっとずっと大好きで、尊敬しているんだなって感じる。ある夏、戸田先生は自分が育った北海道・厚田の海に、池田先生を連れて行ってくれたんだって。夕焼けに染まる水平線を遠くにながめながら、戸田先生は言った。「ぼくは、日本人の人を幸せにするための、しっかりとした土台をつくる。君は、世界中に幸せを広げる道をひろくんだ」寄せては返す波の音をバックに、池田先生は、戸田先生の言葉を一文字だって忘れないぞと、心に刻んだ。その戸田先生の言葉通り、世界中に友情を結んできたんだ。そして、なやんでいる人をはげましてきた。戸田先生といっしょに、世界中の人を笑顔にできたことが、池田先生の最高の思い出なんだと思う。

日蓮大聖人は、南無妙法蓮華經と唱えること、人にも「唱えてごらん」とすすめることこそ、人生最高の思い出になると教えてくださった。それは、自分が幸せになると、そして人にも幸せになってほしいと願うことなんだ。まさに、戸田先生と池田先生という師匠と弟子が続けてきたことだね。ボクも2人の先生のように、だれかを笑顔にしたいな! 家族や友だちの幸せを願って、みんなを幸せにできるような人に自分も成長していきたい。そのために、毎日の勤行・唱題に挑戦して、心を強く、大きく、優しくしていく。池田先生は、「みなさんの心の中には、大きな大きな宇宙よりも、さらに大きな可能性があります。その可能性を開いていくために大切なことは何でしょうか。それは一日一日の生活の中で、一つ一つ、『自分自身に勝つ』ことです」と語ってくださっているよ。一つ一つ、自分に勝つことが大切なんだね。それじゃあ決めた! 明日から毎朝、早起きしてお花に水をあげるよ! きれいなお花を見たら、みんな笑顔になるよね。さあ、毎日の挑戦を積み重ねて、可能性を開いていこう!